

障害者の地域での安心・安全な生活をサポートするツールに関する開発

開発機関名 株式会社 ソキエ

【報告書 PDF 6 MB】

※全体の概要

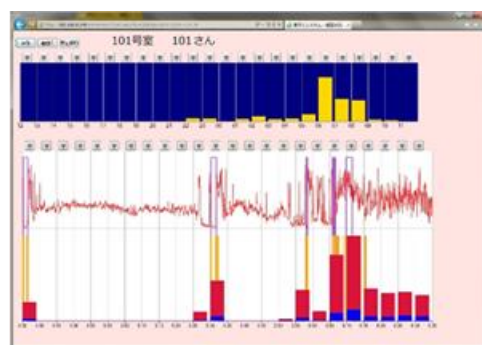
入居者が夜間就寝時を中心にプライバシーが守られた空間に身を置くことで安心感が得られる」ことの提供が、自立支援の重要な一視点との思いで開発を進めている。入居者の室内での挙動、特に就寝の状況を夜間支援員やケアスタッフの控え室に送信し、見易くかつ居室内の状況を容易に判断可能に画面上に表示する。また長時間の離床や離室、また痙攣を伴うてんかん発作、転倒を検出し注意を喚起する。支援員は控え室にしながら入居者の状況を把握することができるので通常の巡回においても前もって状況を知っておくことで円滑な対応が可能となり、入所者のプライバシーの確保が保障され、質の高い自立生活を実現していただこうとするものである。

※試作した機器またはシステム 1 居室内状況表示画面

画面のデザインコンセプトとして、即座に居室内の状況を把握できることを目的にユーザビリティ評価の結果から、動作イメージと空間イメージのできるアイコンと間取りを組み合わせた。



施設全体の現状を把握する画面



部屋ごとの詳細状況を時系列で確認する画面

※ 試作した機器またはシステム

在宅用タブレットの見守り表示画面

在宅の身障者、てんかん罹患者の見守りの安価なシステムを開発した。
画面は、アイコンを大きくして見易くした。介護人が外出の際にはタブレットをカメラとして使い、スマートフォンで画像も確認可能にした。

